



議会だより

いせん

第55号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 (有) 奄美新生社印刷



平成29年7月30日

第31回伊仙町ほーらい祭 面縄港特設会場

平成29年度 県外視察研修

鳥取県日吉津村・日南町

平成29年5月23～26日にかけて鳥取県日吉津村、日南町におきまして、子育て支援及び高齢者の交通手段対策、移住定住の取り組みについて視察を行いました。

日吉津村では子育て支援制度により、育児休業給付を受けず、保育所などを利用していない1歳に達するまでの乳児を養育している保護者に対し、おむつ・粉ミルクなどの現物支給や一時保育等のサービス利用料など、1人当たり月額上限2万円を10か月間支給する「在宅育児サポート事業」や、少子化対策として、保育サービスの充実、子育て支援策の充実など、保育環境整備を図るための「障がい児保育事業」、保育園への加配保育士賃金、低年齢児受入れ、保育料無料化などの「保育所総合支援事業」を取り入れ、実施中でありました。

また、地域子ども・子育て支援事業として、子育て支援センター「チューリップ」において育児相談や子育てサークルの育成支援を実施してお

り、また、育児援助を受けた人の子育てを終え、支援できる人を村民から募り、会員によるファミリーサポートセンター設立など充実してまいりました。このサポートセンター設立により、急な事情で子どもを預けるときに役立つというの事でした。

更に、これらの支援事業を分かりやすく周知するために「子育てナビ」というパンフレットを作成するなど、本町としても大変参考になる事例でありました。

次に、鳥取県日南町では、高齢者対策、移住定住の取り組みについて視察してまいりました。

高齢者対策としては、本年度より70歳以上の運転免許を持たない町民に対し、年間2万円を上限にタクシードライバーを交付する事業を実施しております。これらを踏まえ、一般質問でもありましたが、本町においても急速に高齢化が進む中、参考になる事例でありました。

移住定住の取り組みでは、

平成28年度より移住専任相談員を配置し、窓口を一本化して集落ごとの支援員と連携しながら、情報発信、移住希望者への対応、移住後のフォローアップを行っていました。更に充実した移住希望者向けの冊子も備えられ、支援メニューや移住者の声が掲載されており本町でも参考になるものでありました。

また日南町では高齢化、過疎化が進む中で、課題解決に向け、道の駅を核としたコンパクトビレッジ化をすすめており、生活に必要な諸機能を近接して配置し、効率的で持続可能な町づくりをめざし、道の駅「にちなん」を中心に1キロ範囲内に行政文化ゾーンとして役場、ホール、図書館、美術館を集約。教育福祉ゾーンとして保育園、小中学校、運動施設を集約。商業福祉ゾーンとしてコンビニ、ホームセンター、社会福祉協議会、子育て支援センター、グループホームを集約。医療福祉ゾーンとして病院、健康福祉センター、在宅介護支援センターを配置し、併せて町営バス、巡回バスにより町内集落からの移動手段の充実を図っております。

本町の進めている、小規模

校の存続と言う取り組みとは方向性が違いますが、参考になるものもありました。

以上の研修を踏まえ、議会として、1点目に子育て支援・高齢者支援の充実を図り、分かりやすい冊子などを作成し、町民へ周知する事。

2点目に役場や農業高学校跡地などの公共施設利活用計画を早急に取りまとめ、具体的な計画を推進する事。

3点目として平成30年度に予定されている世界自然遺産登録に向けての環境整備やネコ対策、町民への周知、受け入れ態勢構築、ガイド養成など、関係機関と連携した早急な対策を実施するよう6月議会におきまして、町へ要望いたしました。



日吉津村役場



日南町

平成29年第2回伊仙町議会定例会 (6月13~15日)全議案

議案番号	議 事 内 容	備 考
陳情第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級の解消を図るための、2018年度政府予算に係る陳情書採択の要請について	採 択
承認第2号	伊仙町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	可 決
承認第3号	平成28年度伊仙町一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認	可 決
承認第4号	平成28年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)の専決処分の承認	可 決
承認第5号	平成28年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分の承認	可 決
承認第6号	平成28年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認	可 決
承認第7号	平成28年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	可 決
承認第8号	平成28年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第5号)の専決処分の承認	可 決
承認第9号	平成28年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第5号)の専決処分の承認	可 決
承認第10号	平成29年度伊仙町一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認	可 決
報告第1号	平成28年度伊仙町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	可 決
報告第2号	平成28年度伊仙町簡易水道特別会計繰越明許費繰越計算書の報告	可 決
同意第1号	伊仙町農業委員会委員の任命の同意	同 意
議案第26号	伊仙町過疎地域自立促進計画の一部変更	原案可決
議案第27号	伊仙町辺地総合計画の一部変更	原案可決
議案第28号	伊仙町飼い猫の適正な飼養および管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第29号	町道の認定	原案可決
議案第30号	平成29年度伊仙町一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第31号	平成29年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第32号	平成29年度徳之島交流ひろばほーらい館特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第33号	平成29年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第1号)	原案可決
以下余白		

平成29年 第2回定例会

一般質問



美山 保議員

地域の活性化に
向けた仕組みづく
りを行う

答

(町長) 今、

本町においては、小規模校区を中心に住宅政策を進めた結果、喜念小学校以外の小

高齢者並びに障がい者等
買い物弱者の対策につい

問

役場を中心に、大型店舗や医療機関が集中しており、各集落の店舗は閉店している現状です。Aコープや一部の商店では家庭への配達サービスをしているお店もありませんが、町民へ周知していますか。また、今後さらに高齢化が進み、運転免許証を返納した多くの方々が買い物や病院の通院に支障をきたすことが予想されますが、行政として対策は考えているのか

いる地域包括ケアシステム、さわやかサロンなどで、そのような動きを広めていくのは十分可能ではないかと思っています。また私は、そういった仕組みを伊仙町から作り出していくことも可能ではないかと思っております。

(保健福祉課長) 町民への周知に関して、複数の商店が配達サービスを行っていますので、役場へ相談があった方々に対し、町内の配達サービスを行っている商店の紹介などを行っています。

運転免許証を返納した高齢者等への対応を！

問

5月の所管事務調査において日南町では、運転免許証を返納した高齢者や障がいのある方、70歳以上の車を持たない住民に対し、年間2万円分のタクシーチケットやバス利用券の支給を行っているとの事でした。伊仙町として、何か対応策はとれないのか再度伺います。

答

(保健福祉課長) 運転免許証を返納した方々の買い物や通院の支障に関する対策については、伊仙町では、地域支援事業や地方創生事業などを活用しまし

て、ほーらい館を利用し、さまざまな介護予防事業を実施しており、必要な方々には送迎等も行っています。ほーらい館で運動や入浴、また各事業に参加しながら、ほーらい館利用のついでに、買い物をしたり、病院受診、その他の用事を済ませたりと、本町においては、ほーらい館を起点に買い物弱者対策が多少は行われていると思われま

移動販売車の設置について

問

百菜やAコープ等に協力していただき、移動販売で各集落を巡回し、高齢者や障がいのある方、運転免許証を返納した方々等の買

各関係機関と連携をとりながら検討していく

答

(保健福祉課長) 移動販売については、商工会へ尋ねましたところ、Aコープやお店で買い物をするような形で移動販売しますと、それが小規模店舗にとって痛手となりますので、商工会では積極的にはできないという返

答でありました。

今、地方創生事業において、小さな拠点づくり事業としまして、サロン活動を展開しております。それに合わせて、生活支援コーデイネーターと言う方々を、今、要請して、小さな困り事、例えば、買い物やゴミ出し、そういった事を地域の中でサポート体制が出来ないか。また、地域のお困りの方が、どこにどれくらい、いらっしやるのかと、社会福祉協議会と連携してマップづくりを進めています。そういった拠点づくりの整備を行っていきながら、買い物弱者対策、障がいのある方々の生活の困り事に寄り添えるような施策を行って行きたいと思

問

集落の小さなお店に対して迷惑がかかるような集落を調べて頂いて、移動販売車を利用する必要があるのではないかと伺う。

答

(保健福祉課長) 移動販売については、今後各関係機関とも連携し、法的な所も含めて、できるかどうかを検討して行きたいと思



美島 盛秀議員

行財政について

問 本町の交付税、町債残高、普通会計残高の過去10年間の推移と平成29年度の見込みを問う。そして、町長は多くの事業を執行しているが、その成果は長い目で見ないと出てこない。と言っているが、他の先進地では計画的な行財政計画が進められています。大久保町政では16年たっても未だ成果が見えてこない。数値ではつきりと表れており、伊仙町は大島郡内でも県下でも最下位です。どう認識されているか問う。

答 (町長) 伊仙町は、私が就任当初から基金が非常に厳しい状況にあります。そういつた中で、徳之島農業高校、鹿児島銀行の撤退があり、まちづくり交付金事業で「ほーらい館」、「百

菜」、周辺の住宅等の建設を実施しました。町債残高につきましても、いろんな事業を実施して、その起債が始まった状況の中で増えてきました。これから、地方の時代が大事である、地方の歴史文化をいかに

くみあげていくかという事が、地方行政のやることではないか、それにはいろんな見識、そして私自身の人格すら磨いていかなければ信頼関係を得ることはできない中で、私は16年間やってきたことをこれからも発揮し、自分の力を外交の為に使っていくことは、伊仙町の将来にとって間違いない力になるし、大きな宝になると思っております。

(総務課長) 交付税、町債残高、基金残高については別表の通りですが、今後町有財産

別表1 (単位:万円)

年度	交付税の推移	町債残高(借金)	基金残高(預金)
平成19年度	27億2,000	81億9,600	4億800
平成20年度	28億3,900	84億200	4億5,600
平成21年度	29億1,500	88億1,900	5億1,500
平成22年度	31億2,300	88億4,500	6億7,400
平成23年度	30億6,200	86億9,400	8億1,900
平成24年度	30億7,600	85億4,200	7億700
平成25年度	30億1,000	84億9,200	7億7,600
平成26年度	30億3,100	82億1,800	8億3,800
平成27年度	31億4,100	82億9,000	10億1,800
平成28年度見込	31億6,900	76億2,300	12億6,300
平成29年度見込	31億1,000	74億2,000	12億7,800

◎債務負担行為の支出予定額 9億7,200万円 ◎簡易水道特別会計(公営企業債) 3億円

の管理計画においては、公共施設の改修、建て替え等を行うと、30年間で500億円程度の予算が必要となり、伊仙町においては、余裕があるという状況ではないと思われま

指名競争入札について

問 指名委員会において、推薦されて決定した業者が入札の時点で入れ替わっている件について、指名委員長の副町長は、「最終決定

の中で決定して、その指名委員会の前後に町長と打合せをしたりすることもあり、その中での変更ではなかったかと思っております。そして町長は、その時の事情、そしていろいろなるもろの事情があ

るわけですから、その中で決裁をする。」と答弁しましたが、どんな事情があつて入れ替わったりするのか。決定権者である町長が恣意的にこれを行つてはならないと思うが、町長の考えを問う。

答 (副町長) 40業者の中で、どうして推薦していくかという流れの中で、工事・工種そして手持ち工事等条件を踏まえて、5〜6業者をそれぞれの工事に推薦しています。指名については、業者も最初の段階と最終段階とは大いに変わることもあると思います。

(町長) 恣意的という言葉の定義の問題になると思いますが、恣意的とは町長が圧力をかけたという意味ですか。それは決してありません。また、強制したということもありません。

人権擁護員について

問 人権擁護委員は、町長が推薦して議会が承認し、法務大臣が認定します。人権擁護委員の推薦及び委嘱にあつては、全ての国民

は平等に取り扱われ、政治的意見若しくは政治的所屬関係によって差別されてはなら

ない。また、委員の服務として、人権擁護委員は、その職務を執行するにあつては、関係者の身上に関する秘密を守り、政治的意見若しくは、政治的所屬関係によって差別的または、優先的な取り扱いをしてはならないとなっております。ところが、大久保明後援会の女性部長は人権擁護委員であります。伊仙町では常識的なことが通らないことがたくさんあるが、どう認識しているか問う。

答 (副町長) 選挙運動で禁止されている方々というの、選挙事務に係る方々、そして特別公務員と言われている方々でありまして、人権擁護委員については、どういう活動をしようという事に関して制限はないものと思っております。

(町長) 社会的常識から逸脱しているかということに関しては、私は決してそうではないと思つているし、この町の将来を人権擁護委員として、またその方は教育者でもあつたわけですので、参加する、支援するということに関して、制約はないということでは、町民の理解は得ることができると思っています。



岡林 剛也議員

農林水産物直売所「百菜」について

ので、平成29年2月から経理専門員を補充して経営状況の把握に努めています。3月末で約800万円の損失が出ており、自転車操業ですが、少し遅れながらも運営しているとい

問 平成22年、「徳之島農業のモデルになる」とうたいオープンした直売所百菜であります。未だに、町からの貸付金500万円、ほーらい館へ払う電気代300万円余が回収不能となっており、さらに組合長は不在、ここ数年は、総会を開こうにも組合員が集まらずに開けない状態が続いています。当初、町長は「ほーらい館と百菜は、町の将来を賭けた事業である。」とまで言い切っています。現在の運営状況と今後の見通しについて問

答 (経済課長) 平成28年度の現状については、毎月の収支がわずかに状況が分からなく、どういう経営状態なのか把握できない状況です。

問 平成27年度「百菜」決算報告書の中に町からの長期借入金500万円、その下に代表者借入2500万円とあるがどういふことか。

答 (経済課長) この2500万円は借りているということではなく、これだけ損失が出ているが、何とかやりくりしながら運営しているということです。

問 負債合計が3000万円くらいあるが、どうするつもりか。

答 (経済課長) 経営診断後、百菜の努力で返済していかれたらと思っ

問 経営診断後、すぐにでも総会を開いて議会に報告してほしいが、いつ頃

なるのか。

答 (経済課長) 直売所「百菜」と百菜出荷組合は個別になっているため、百菜出荷組合の総会を近日中に予定しておりますが、直売所百菜の方は、決算報告、決算書の提出という形になると

教職員住宅について

問 辺地総合計画(平成28〜32年)では「教職員住宅の老朽化が著しく、年次的に整備をする。」とうたわれてはいるが、町内の、特に校長住宅を見ても、老朽化が激しく人を住ませるには町民として恥ずかしいような、非常に申し訳ない気持ちにさせる校長住宅が存在します。先生方が余計なストレスを受けず、教育に専念出来るよう環境を整えるのも町長の役割であると思うが本気でこの建設計画を実行する気があるのかないのか問。

答 (教育長) 教員住宅のほとんどが昭和40年代に建てられており、老朽化も進んでいます。町の財政を考えると、今後の建設計画実現には、大変苦慮しているところ

問 そういう住宅を教育委員会として把握しているのか。

答 (教委総務課長) 把握はしています。面縄、馬根の校長住宅。阿権小の元校長住宅、糸木名小の住宅です。

問 本気で整備するつもりで計画に載せているのか。

答 (教委総務課長) 民間の力を活用してできる部分は活用しながら、町で整備できるところは町でできればと思っ

問 平成28、29年度は何もしていない。平成30年度に建設するならば、今、(県に)申請してなければ間に合

答 (教育長) 校長先生から「ぜひ何とかしてほしい。」という要望はありましたが、町の財政を考えると、すぐには結論が出ず、総合的に判断して考えたいという

問 町の事業に対する優先順位がおかしいのではないかと。目新しい事業にはすぐに手を出すが、いつの間にか自然消滅。その繰り返し。しかし、この教職員住宅事業は、町長のやる気ひとつで確実に形に残せるし、先生方、児童生徒にも良い影響を与えることになると思われ

答 (町長) 私も大変申し訳なく思っています。伊仙町は各学校を統合しないで、発展させていくと言っており、本場に地域の教育を町が本気でやっていくという事を先生方に示している事は非常に重要だと思



面縄小学校長住宅



あなたの声が
地域を変える

町民の 声

インタビュー者
牧 徳久議員



小原 幸三
(年齢66歳)

鹿児島県日置市伊集院町に生まれ、2017年の1月まで同地区に住んでいました。

2016年3月に定年退職するまで鹿児島大学の理工学研究科で教授として学生の教育と研究をしていました。研究は、物質科学分野で先端材料開発手法の基礎的研究をしていました。超電導材料や量子現象を室温で実現するために、通常よりエネルギーの高い状態を安定に合成することが目的でした。

米国スタンフォード大学やドイツの研究所でも研究しました。教育では、高校と大学の連携を支援するSPP(サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト)、国際教育拠点形成事業では、廃棄物のリサイクル活動をインドネシアのジャカルタ近郊のデポック市やバリ島デンパサールの小中高や大学、自治体と行いました。



問.伊仙町の暮らしで感じたこと

まだ半年しかたっていませんが、伊仙町に移住してほんとに良かったと思っています。大家さんとは、家族同様のお付き合いで、前のご夫婦からは、イザリ漁やタコ、貝の採り方を教えていただき、横の先輩からは、黒糖作り、島の生活伝統を教えていただいています。集落の皆さんからは、サロン活動、民謡保存会、馬鈴薯・サトウキビ収穫で島の生活を教えていただいています。さらに、いろいろな方々から、伊仙町のたくさんのすてきな方々をどんどん紹介していただき、人の輪がどんどん広がっています。地域の子供たちとも友達になり、隣の公民館で、いっしょに自由研究やGreen Product作り、卓球などを行っています。何でも地域の皆さんに提案して、一緒に考えて活動することができるのですが、新しい活動や商品を生み出す力だと感じています。創造的な活動の基礎能力は高い地域だと思います。みんなの力を揃えることができれば、大きな仕事ができそうです。

問.徳之島に来た理由

理由は三つあります。

- 1) 徳之島は、妻の両親の故郷であること。
- 2) これまでの研究や教育で得た経験を活かす場所を探していたこと。
- 3) ゴミ資源活用活動を人生の最後の仕事として実施する場所を探していたことです。移住を決定づけたのは、両親の法事で初めて徳之島を訪れたときに感じた伊仙町の空の色、澄んだ空気、豊かな植物群とマンゴーの葉っぱのサンプルをいただきに訪問した学生さんのご家族との交流です。

問.提案したいこと

伊仙町は特徴のある小さい自治体です。長寿と子宝という過去と現在の成果を未来にどのように展開するかは、議員だけでなく全町民の課題だと思います。50年前には、全国的に環境や経済の大きな変化が起こりました。伊仙町では、畑総事業により環境は大きく変化し、その後の農業手法の合理化で地中の微生物の世界に深刻な変化が起こっていると予想されます。これは、伊仙町だけではなく世界中で起こっていることです。進化の過程で植物誕生には菌類の存在が必要だったと言われていています。小さな生物ほど、外界の影響に弱いです。小さい世界の変化は、いずれ蓄積して大きい世界の変化として、目に見える変化になります。未来への投資として、健全な子供たちの成長環境育成と、見えにくい世界を見えるようにする技術開発環境育成があります。近未来への投資は、商品流通力の強化だと思います。特に沖縄を中継とした海外市場との取引に地域経済成長の可能性を感じています。この分野では、徳之島は歴史的に多くの経験を持ち、特に戦後の混乱期の体を張った政治経済活動は、しっかりと地域の「DNA」として記録し、未来を築く能力開発プログラムに活かしていただきたい。子供たちは多様な才能を持っています。多様な能力を育てるには、多様な人材や機材が必要です。使われていない人材やモノを活かす政策と事業が地域成長のカギだと考えています。皆さんと一緒に、活動できる日が近いうちに来ることを夢見ています。競争ではなく循環と共有のために。

第60回奄美群島市町村議会議員大会

去る5月18日、与論町砂美地来館において、第60回奄美群島市町村議会議員大会が開催されました。大会では、大島郡内各市町村（5ブロック）や議長会から6件の議題が提出され全て採択されました。徳之島地区においては、徳之島3町を代表し、伊仙町議会経済建設常任委員長の明石議員より「主要地方道（伊仙～天城線・伊仙～亀津～徳之島空港線・花徳～浅間線、松原～轟木線）道路改良事業について」の提案理由の説明がなされました。



議会の動き

平成29年第2回伊仙町議会定例会における諸般の報告（議長の動静）
 動静期間：平成29年第1回定例会（3月18日）以降の分

月	日	行事名	場所
3月	22日	教職員送別会	ほーらい館
	28日	徳之島3ヵ町議会議員連絡協議会打合せ会	天城町役場
4月	1日	富山大生君剣道全国大会優勝祝賀会	ほーらい館
	4日	徳之島3ヵ町議会議員連絡協議会ボランティア作業	犬田布岬
	5日	交通安全運動出発式	徳之島警察署
	6日	面縄中学校入学式・慰霊祭参加者懇談会	面縄中学校他
	7日	戦艦大和慰霊祭	犬田布岬
	9日	学校管理職・教育委員会歓迎会	ほーらい館
	10日	議会全員協議会	議会委員会室
	12日	スポーツ推進協議会	中央公民館
	13日	議長・事務局長合同会	奄美市
	14日	伊仙町体育協会理事会	教育委員会
	16日	関西奄美会100周年	兵庫県尼崎市
	22日	奄美国立公園祝賀会	徳之島町
	25日	県政説明会	県庁
	26日	奄振総合調査説明会	県庁
28日	徳之島地域農業総合対策推進協議会総会	徳之島町役場	

4月	28日	徳之島地区防犯組合連絡協議会監査	徳之島警察署
	29日	瀬田海海ひらき	瀬田海
5月	2日～3日	県離島議長会徳之島視察	ほーらい館
	5日	犬田布岬運動会（西犬田布・崎原集落）	犬田布岬
	9日	議長研修会	鹿児島
	10日	議長会臨時総会・議員研修会	鹿児島
	12日	徳之島空港利用促進協議会総会	天城町役場
	15日	伊仙町商工会通常総会	中央公民館
	16日	伊仙町生涯学習推進会議総会	中央公民
	18日～19日	第60回奄美群島市町村議会議員大会	与論町
	22日	徳之島3ヵ町議会議員連絡協議会ボランティア作業	徳之島町
	23日～26日	県外所管事務調査	鳥取県日吉津村・日南町
	28日	関西検福会郷友会	大阪
6月	31日	奄美群島各種協議会	奄美市
	2日	徳之島地区防犯組合連絡協議会役員会	徳之島警察署
		平成29年第2回定例会告示	
	7日	議会運営委員会	議会委員会室
	13日	平成29年第2回定例会開会	

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

編集後記

8月もお盆を過ぎると、朝、晩は日中と比べると幾分暑さは和らぐようになりましたが、残暑厳しい今日この頃、町民の皆さん、いかがお過ごしでしょうか？体調など崩されてはおられないでしょうか？

さて皆さん、「議会だより いせん」の花形「一般質問」のページですが誰が書いているのかご存知でしょうか？私も議員になる前は、事務局の職員が書いているものばかり思っていました。がしかし、コレ、質問した本人が原稿を書いているのです。

まず、議会終了後、質問者別に暫定版の議事録が渡され、それを見ながら原稿を書いていくのですが、これがなかなか大変な作業で、質問が多すぎる。答弁が長すぎる。質問に対する答弁がない、迫りくるメッ、等々。それを読者（町民）に、わかりやすく、1500字以内に収めないといけないのですが、私、今回、①ほーらい館 ②直売所百菜 ③教職員住宅の3つの質問をすべて掲載しようと思いついて、2週間をかけて作成したところ、何と3000字を優に超え、稀にみる超大作となっていました。それを何度も読み返す。素晴らしい。会心の出来だ。意気揚々と編集会議に臨んだところ、あえなくボツ。「ダメです。半分にとめてください。」という冷酷な担当者の声。泣く泣く記事を削る事となりました。残念。このような紆余曲折を経てこのページが出来上がっているという事を少しでもわかっていただければ幸いです。

町民の皆さん、まだまだ猛暑日が続くと予想されますがごきげんよく過ごしてください。

（文責 岡林 剛也）

議会広報編集委員会

- 委員長 牧 徳久
- 副委員長 岡林 剛也
- 委員 福留 達也
- 委員 平 博人
- 委員 永岡 良一